

鴻池荘 通所リハだより

令和1年
8月号

通所リハビリテーションに期待されていること

住宅改修で失敗しないために…



疾病、加齢に伴う筋力低下、また、関節変化により、利用者から「玄関の昇り降りが怖い」「トイレに座って立ち上がりにくくなった」という声は良く聞きます。利用者には極力、自身の力で安全にそして安心して在宅生活を継続できるように支援することが望めます。

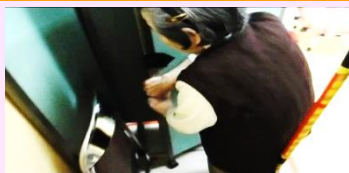
このような自立支援の観点からも住宅改修は重要なサービスであると考えられます。その中で、リハビリ専門職の役割は、利用者の身体機能、生活状況を評価し、予後予測を見据えて手すり、福祉用具の選定を行うことです。さらに、家族様のニーズを把握し、介護保険制度のノウハウを持ったケアマネとの情報共有、連携が重要なカギになります。

今回は、鴻池荘での住宅環境カンファレンスの内容を紹介させていただきます。

住宅環境カンファレンス

<実例> 独居で暮らしている女性Aさん。左右の膝関節変形症を患っておられます。在宅訪問の際に環境や動作の確認を行った結果、お風呂場の椅子の高さが低く、毎回起立・着座時に膝の痛みが出現している状況でした。

<評価> 通所リハで実際のお風呂場を再現し、椅子の設置や持ち運び、浴室での動作を確認します。また、滑りやすい環境で安全・安楽に起立と着座をできるように椅子の高さを評価しました。



膝の炎症はいつまで続く予測？

痛みが完治してから購入が良いのでは？

浴室以外の椅子やベッドも高さ確認！

<環境カンファレンス>



ご家族の身長は？掃除は誰が？

ドアの開閉に干渉しない？

背もたれ・折り畳みが必要な理由は？

<結果> 改めて、予後予測と3パターンの椅子を説明し、家族・ご本人が選択され、購入。再度訪問し入浴動作が安全に行えていることも確認できました。

サービス紹介

専門的な口腔衛生指導



- 入れ歯の調整の用途を判定
- 歯ブラシなどの道具選定のアドバイス
- 唇や頬、舌の運動のご提案 などなど…

通所リハ “あるある”

親にええ歯もろたから、磨かなくても大丈夫！
嫁には気が引けて、入れ歯の相談まで出来へんねん
一番高い歯ブラシ買って、もう1年も使えてるねん！



こんな声に悩みながら頑張ってます！ぜひご協力を

利用者作品紹介

(K氏の作品)



手の細かい動きを鍛える様に折り紙などで作品を創作しています。季節に合わせた物を思案すると手一杯ですが、充実しています。

介護老人保健施設鴻池荘
受付時間 9:00~17:00

TEL 0745(64)2180
FAX 0745(62)1092
担当者：相談員

